

## 女子中高生理系選択支援事業と男女共同参画小委員会の活動について

山梨大学大学院 正会員 ○岡村 美好  
 埼玉大学大学院 正会員 小松登志子

### 1. はじめに

「男女共同参画白書 平成17年版」<sup>1)</sup>には、日本における研究者に占める女性の割合は11.6%であり、先進国中（アメリカ32.5%、フランス27.5%、イギリス26.0%、ドイツ15.5%、…）、最も低い数字であることが示されている。また、日本の大学教員における分野別女性割合は工学系分野が10%未満で最も低い。

一方、第3次科学技術基本計画<sup>2)</sup>では、期待される女性研究者の採用目標として、自然科学系全体で25%（理学系20%、工学系15%、農学系30%、保健系30%）を掲げている。これに対する具体的な取組みの一つとして、文部科学省では、女子中高生の科学技術分野に対する興味・関心を喚起し、理系への進路選択を支援する「女子中高生理系進路選択支援事業」を平成18年度より実施している。

本報告では、これら事業に関連した土木学会男女共同参画小委員会の活動内容と今後の課題について述べる。

### 2. 女子中高生理系進路選択支援事業

表-1に平成18年度に採択された女子中高生理系進路選択支援事業の一覧を示す。

採択機関は、12件のうち8件が大学、1件が原子力学会である。具体的な取り組みは、ロールモデルとしての女性研究者を女子中高生に示すためのパンフレットの作成や、女性研究者と女子中高生の交流会、女子大学生や女性研究者による実験教室などである。

また、平成18年度には、これらの事業に先駆けて同様の事業である「理系に行こう ―You can do anything!―」（INWES（国際女性技術者・科学者ネットワーク）Japan主催）と「女子高校生夏の学校 ～科学・技術者のたまごたちへ～」（文部科学省、独立行政法人国立女性教育会館、男女共同参画学協会連絡会、日本学術会議主催）も開催された。

### 3. 男女共同参画小委員会の活動

これらのうち、男女共同参画小委員会が関わった事業は以下の通りである；

- ①「理系に行こう ―You can do anything!―」：土木技術者女性の会との連携によるブース展示と土木関連資料の配布
- ②「女子高校生夏の学校 ～科学・技術者のたまごたちへ～」：実験教室の開催とポスターセッションへの参加（ポスターの展示と土木関連資料の配布）、女性土木技術者による講演
- ③「女子高校生春の学校 ―ジュニア科学塾 2007 in 関西―」：ポスターセッションへの参加（ポスターの展示と土木関連資料の配布）

表-1 平成18年度女子中高生理系進路選択支援事業

採択機関	計画名
名古屋大学 男女共同参画室	女性科学者のロールモデル提示と中学校・高等学校女子生徒の科学分野への進路選択支援
岡山理科大学	環境科学と生命科学を中心とした女子中学校・女子高等学校との連携
北海道大学	”理科してみよう！” Be Ambitious, 女子中学生
九州大学	女子中高生向け「理系への招待」 一同窓会組織との連携による理系進学者ロールモデル明示プランナー
東京大学	海が好き！オーシャンサイエンスで活躍する女性研究者たち
秋田大学	ロケットガール養成講座
特定非営利活動法人 科学と市民社会のコミュニケーション	女子高校生春の学校 ―ジュニア科学塾 2007 in 関西―
東海大学	現役女性科学技術者とその卵が紹介する理工系選択の道
社団法人 原子力学会	原子力分野から女子中高生への発信 「幅広い科学・技術が支える原子力の研究開発」
東京工業大学	体験！理系の殿堂
山梨大学	Do! サイエンス Teen Age Girls
独立行政法人 国立女性教育会館	理工系女性研究者・技術者ロールモデルの提供による進路選択支援

キーワード 女子中高生、理系選択支援、男女共同参画

連絡先 〒400-8511 山梨県甲府市武田4-3-11 山梨大学大学院医学工学総合研究部 TEL055-220-8520

これらのうち、「女子高校生夏の学校」における実験教室と、「女子高校生夏の学校」および「春の学校」におけるポスターセッションについて、その概要を紹介する。

### 3.1 実験教室「ペーパーブリッジコンテスト」

男女共同参画小委員会委員である女性研究者1名と4名の女子大学生・大学院生で実施し、高校生8名と小学生（運営スタッフの子供）3名が参加した。所要時間は2時間で、橋の構造や力学的特性に関する簡単な説明の後、与えられた工作用紙と両面テープで高強度な断面の梁を参加者各自で考えて作成し、破壊実験を行って強度を競った。実施後、参加者からは、自分で考えたものを形にする楽しさや、梁の断面形や補剛方法による強度の違いに対する驚きなどの感想が寄せられた。

### 3.2 ポスターセッション「土木の仕事」

写真-1に示すA0版のポスターを作製・展示し、説明者1名が高校生からの質問に答えた。また、土木関連資料として、就職支援パンフレット「Civil Engineer への扉」（土木技術者女性会の会作成）あるいはそのチラシ、冊子「土木という言葉について」（土木学会作成）を配布した。また、「女子高校生夏の学校」では工事記録ビデオデモ版DVD（土木学会関西支部作成）等の無料配布も行った。

説明者には、教育企画・人材育成委員会の依田委員長および生涯学習小委員会の幣守委員にご協力をいただいた。説明者からは、女性高校生が対象なので男性の説明者ではなかなか生徒が集まらなかった、説明者も女性のほうが説明に具体性があり女子高校生に抵抗がなくてよいのではないかと、等のご感想をいただいた。

## 4. 今後の課題

これらの事業で活動するにあたり、女子中高生（一般）向けに土木を紹介するポスターや無料配布できる資料がほとんど見つからなかった。教育企画・人材育成委員会生涯学習小委員会のホームページ<sup>3)</sup>には一般向けの土木工学の資料の一覧が掲載されているが、その多くは書籍であり、このような機会での利用には適さないと考えられる。今後は、一般向けに土木を紹介するポスターや無料配布できる資料の充実を望みたい。また、男女共同参画小委員会の委員

だけでの対応は困難な場合もあり、他の小委員会との連携性を高める必要があると考えられる。

## 5. おわりに

土木学会における女性会員の比率は個人正会員が1.5%、学生会員が9.1%であり、前述の第3次科学技術基本計画で示された工学系女性研究者の採用目標値の15%にははるか及ばない状況である。これらの活動は土木系分野の女性研究者・技術者の比率増加としてすぐに現れるものではないので、今後も地道に継続していくことが重要だと考えられる。

最後に、これらの活動にあたり、土木学会からの無料配布物の提供や依田教育企画・人材育成委員会委員長を始めとする多くの方々のご協力など、様々なご支援を頂いた。心より感謝申し上げる。

## 参考文献

- 1) 内閣府男女共同参画局：男女共同参画白書 平成17年版，p.18，2005
- 2) 文部科学省：第3次科学技術基本計画，[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/kihon/06032816/001/001.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/06032816/001/001.htm)
- 3) 教育企画・人材育成委員会生涯学習小委員会 HP：<http://www.jsce.or.jp/committee/education/syougai/index.htm>



写真-1 ポスター「土木の仕事」